



前橋市長から感謝状を受け取る竹内弘光専務理事(左)

した。福祉施設などへの災害対策を、Great Place to Work Japanが実施する。18年には同市

妙高市から優先交渉権

JFEエッジ・北陸ガス 国際帝石グループ ガス・水道事業

妙高市(入村市長)は3日、ガス事業譲渡と上下水道事業包括的民間委託の優先交渉権者をJFEエッジ・北陸ガス(本社・東京、大下元社長)、北陸ガス(本社・新潟市、敦井一友社長)、国際石油開発帝石(同、横濱市立大学教授)による上田隆之社長)の3社が

した。福祉施設などへの災害対策を、Great Place to Work Japanが実施する。18年には同市

した。福祉施設などへの災害対策を、Great Place to Work Japanが実施する。18年には同市

した。福祉施設などへの災害対策を、Great Place to Work Japanが実施する。18年には同市

シーエスクリエイト(本社・千葉市、島崎浩志社長)は、LPガス事業者向けの新たなウェブサービス「ガス機器訴求サイト」の提供を始める。リリースは4月を予定する。

昨年夏にガス機器の期間限定簡易ネットショップ「WEBガスショップ」をリリースし、コロナ禍でガス展などの開催を取りやめた事業者を支援した。今回のサービスも、WEBガスショップ同様、既存のコーポレートサイトとは区別した機器販売特化型のページを用意する。加えて、年間のマーケティングデザイン(商品計画)に基づき、中長期的な時間幅でガス機器販売を支える。

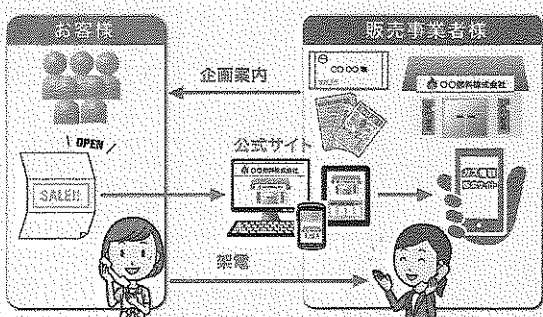
イベント性などを前面に出し、商品展開のメリハリをつけながら、効果的なプロモーションを実現する。たとえば、母の日の時期には家事を助ける高機能こまろや食器洗い乾燥機を重点的に消費者に意識させるなど、季節や層に対応したキャンペーンをその都度企画する。

2月7日に実施した「エコライフDAY2020(冬)」の取り組みでは、堀川産業の埼玉県内の営業所、充填所、Sなどの拠点に在籍する社員とその家族426人が参加し、1人当たりCO2削減量883.3g、合計計37万6290gのCO2を削減。19年冬は410人参加し、34万6824gを削減した。1月30日に開かれた「第2回SDGSエコフオーラムin埼玉」(主催、同フォーラムin埼玉実行委員会、後援、埼玉県)で表彰を受けた。

事業者支援で新サイト

4月から ガス機器販売特化型

クリーエイト



ガス機器訴求サイトの運用イメージ

同様に、既存のコーポレートサイトとは区別した機器販売特化型のページを用意する。加えて、年間のマーケティングデザイン(商品計画)に基づき、中長期的な時間幅でガス機器販売を支える。

丸高石油(本社・館山市、高橋幸丸社長)は、スポーツを通じて社員の交流と健康の促進に取り組んでいる。野球部は「丸高ラブリ」が主催する。交流試合として、館山市の公立中盤まで0対3とリードを奪ったが、最終回に山本選手が逆転の猛打を放ち、5対3で勝利した。

埼玉県から感謝状

堀川産業「エコライフDAY」貢献で

堀川産業(本社・草加市、堀川雅治社長)は埼玉県が毎年実施している「エコライフDAY2019」への取り組みについて感謝状を受けた。エコライフDAYの目的は「地球温暖化防止のためのライフスタイルの定着」に向け、省エネ・省資源など環境に配慮した生活を1日過ごし、地球温暖化防止のためにライフスタイルの見直しを促すこと。

2月7日に実施した「エコライフDAY2020(冬)」の取り組みでは、堀川産業の埼玉県内の営業所、充填所、Sなどの拠点に在籍する社員とその家族426人が参加し、1人当たりCO2削減量883.3g、合計計37万6290gのCO2を削減。19年冬は410人参加し、34万6824gを削減した。1月30日に開かれた「第2回SDGSエコフオーラムin埼玉」(主催、同フォーラムin埼玉実行委員会、後援、埼玉県)で表彰を受けた。

出光興産に逆転勝利

丸高石油野球部が奮闘

丸高石油(本社・館山市、高橋幸丸社長)は、スポーツを通じて社員の交流と健康の促進に取り組んでいる。野球部は「丸高ラブリ」が主催する。交流試合として、館山市の公立中盤まで0対3とリードを奪ったが、最終回に山本選手が逆転の猛打を放ち、5対3で勝利した。

丸高石油(本社・館山市、高橋幸丸社長)は、スポーツを通じて社員の交流と健康の促進に取り組んでいる。野球部は「丸高ラブリ」が主催する。交流試合として、館山市の公立中盤まで0対3とリードを奪ったが、最終回に山本選手が逆転の猛打を放ち、5対3で勝利した。